

「地域をつなぐIPU Hub Project」

興陽 × IPU × 輪島 きゅうりのバスソルト

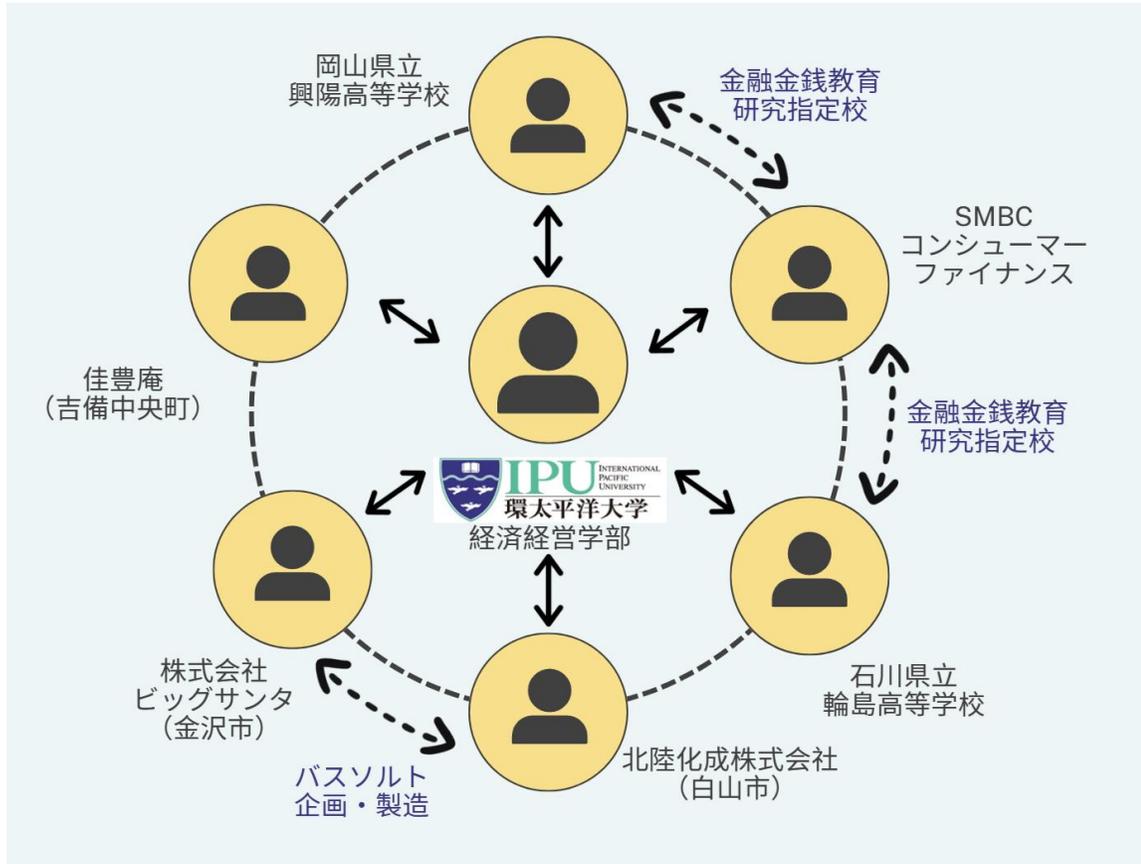


興陽高校産 ※1
きゅうりエキス
× ※2
能登の塩
配合

「地域をつなぐIPU Hub Project」

【概要】

本学学生が地域の「Hub」となり地域活性化に取り組む。経済・経営を学ぶ本学学生が橋渡しをし、商品開発など3者（高等学校—IPU—企業等）もしくはそれ以上の複数の関係者と連携して地域活性化に取り組む。これらの経験を通じて地域産業の持続的発展を担う存在となることが期待できる。



IPU HUB PROJECT

【活動スケジュール】

- 6月20日（木）岡山県立興陽高等学校訪問
IPU学生の農場見学
- 8月 7日（水）岡山県立興陽高等学校訪問
興陽高校生徒との意見交換
- 9月19日（木）興陽高校生徒との企画会議
（商品の詳細打ち合わせ）
- 10月20日（日）中間報告会
- 11月14日（木）輪島高校との企画会議
- 12月19日（木）製品完成お披露目会
- 12月28日（土）石川県金沢市での販売会
- 2月22日（土）活動報告会

課題の集約

岡山県立興陽高等学校を
訪問して農業高校が
抱える課題を集約して
解決方法を考える



農業高校が抱える課題をリサーチ（2024.6.20）

2

課題の整理

農業高校では余剰
生産物が多くあるが
活用されずに処分
されることが多い



農業高校が抱える課題をリサーチ (2024.6.20)

3

企画の提案

食べるものから
消費期限のない物へ
加工することで
廃棄ロスを防げる



興陽高校の生徒とともに規格外のきゅうりを収穫
(2024.8.7)

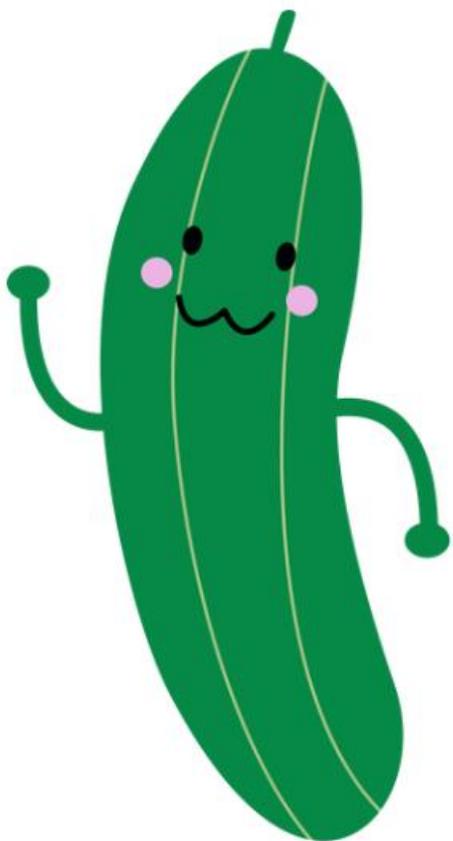
4

持続可能な商品

単なる商品開発で
終わらず付加価値を
付けることで
持続可能な商品に



付加価値をつけるための意見のすり合わせ
(2024.9.19)



余剰生産物の
きゅうり



きゅうり
エキス抽出



食べるものから
保存可能な商品に

5

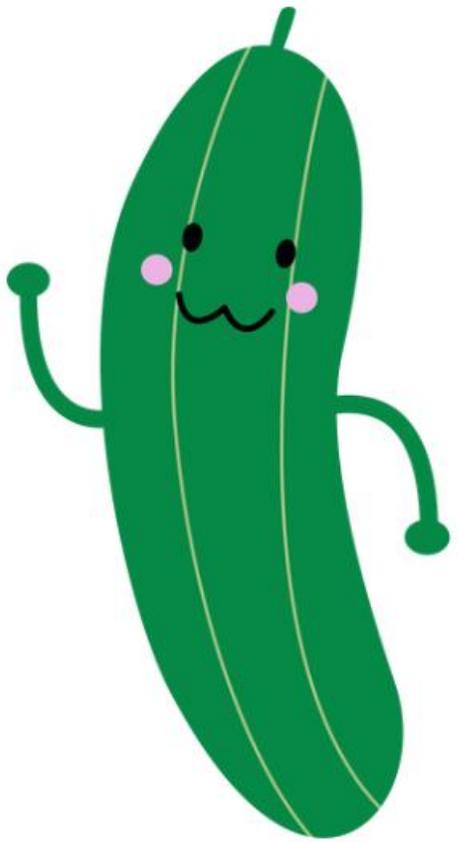
輪島高校と連携

輪島高校の高校生と
連携して能登半島の
地域資源を開発する
商品に組み合わせる

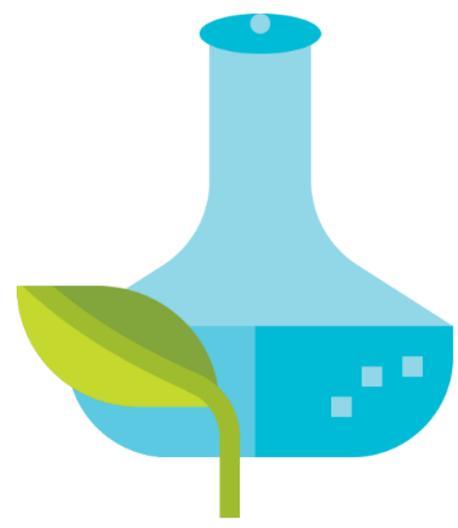


意見を出し合う輪島高校の生徒（2024.11.14）

興陽高校



余剰生産物の
きゅうり



きゅうり
エキス抽出

輪島高校



能登の塩



2校の高校生の
アイデアが商品に

興陽 × IPU × 輪島 きゅうりのバスソルト

興陽高校産
きゅうりエキス
×
能登の塩
配合

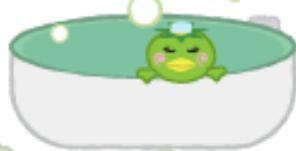


いいお湯やがいね

興陽高校（岡山）と輪島高校（石川）の2校の高校生とIPU環太平洋大学経済経営学部（岡山）の大学生が共同開発しました。興陽高校で生産され余剰生産物となった「きゅうり」からエキスを抽出し、「能登の塩」を添加したサステナブルなバスソルトです。岡山を代表するフルーツ「マスカット」の香りとともに、バスタイムをお楽しみください！

ええ香りじゃなあ

きゅうりの香り？…じゃなく
マスカットの香り！



興陽 × IPU × 輪島 きゅうりのバスソルト

興陽高校産
きゅうりエキス
×
能登の塩
配合



いいお湯やがいね

興陽高校
2校の高校生
とIPU環太平洋大学
経済経営学部
の大学生が共同
開発しました。
興陽高校で生産
され余剰生産物
となった「きゅう
り」からエキスを
抽出し、「能登の
塩」を添加した
サステナブルな
バスソルトです。
岡山を代表する
フルーツ「マスカ
ット」の香りと
ともに、バスタイ
ムをお楽しみく
ださい！

ええ香り
きゅうりの
マスカットの

※1 きゅうりエキス（保湿成分）
※2 塩化Na（整肌成分）

興陽高校 環太平洋大学 輪島高校

高大連携

新商品フェスタ

岡山と輪島から
1日限りの
共同出店

環太平洋大学が岡山県立興陽高等学校と石川県立輪島高等学校と共同開発した「きゅうりのバスソルト」をはじめ、各校の開発新商品を1日限り、県の域を超えて金沢の地で販売します

2024

12.28 Sat

雨天決行 荒天中止 10:00-15:00

会場 近江町いちば館広場

石川県金沢市青草町88

各校オリジナル開発商品も販売します!



興陽高校 玉葱ドレッシング



興陽高校 唐辛子味噌



輪島高校 猫も食べられるお菓子



3校共同開発

きゅうりのバスソルト

興陽高校産 きゅうりエキス × 能登の塩 配合



興陽 × IPU × 輪島
きゅうりのバスソルト



興陽高校産 ※1
きゅうりエキス
×
能登の塩 ※2
配合

※1 保湿成分
※2 整肌成分

IPU環太平洋大学は岡山県立興陽高等学校と石川県立輪島高等学校の高校生と協働で開発した「きゅうりのバスソルト」です。それぞれの想いが詰まったバスソルトで身も心も温まってください。

えー湯じゃけー
いっぺん
入ってみられー



いいお湯やがいね〜



「きゅうり」の香り・・・
ではなく「マスカット」の香り

お得な12回分で

(税込)

1,000円

「きゅうりのバスソルト」の売上の一部は復興支援に充てさせていただきます

【企画】 環太平洋大学経済経営学部
現代経営学科 大池研究室
(岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺721)

【出店】 岡山県立興陽高等学校
石川県立輪島高等学校
当事業は岡山市「学生イノベーションチャレンジ推進事業」および金沢中心商店街武蔵活性化協議会のバックアップにより実施しています



近江町いちば（金沢市）での販売の様子(2024年12月28日)

入浴剤共同開発 「能登を元気に」

能登半島地震（1月）の復興につなげたいと、岡山市の環太平洋大の学生と興陽高の生徒は、被災地・石川県輪島市の輪島高生と共同でバスソルトを開発した。原料に興陽高産キュウリの規格外品と能登特産の塩を使用しており、パッケージには「ええ香りじゃなあ」「いいお湯やがいね」と両県の方言のコピーも添えた。学生らは28日、金沢市内で販売会を開き、売り上げの一部を輪島高に寄付する。（古川竜聖）



輪島高生とオンラインを通じて打ち合わせをする環太平洋大生と興陽高生



3校が共同開発した「きゅうりのバスソルト」

実習で栽培したキュウリ。費用限のない入浴剤への活用の提案が、3校の計約30人が協力してバスソルトを商品化する話がまとまった。

同大生が岡高や協力企業との仲介役となって開発。保温効果が期待できるといふキュウリのエキスを抽出し、能登の塩、岡山特産のマスカットをイメージした香料などを加えた。湯に溶かした時が描いたかっぱのキャラを商品名は「きゅうりのバスソルト」。興陽高生が先を増やし、定番商品化と以上にも思いを伝えたいと意気込む。

実習栽培キュウリ販売で復興後押し
特産の塩活用

実習で栽培したキュウリ。費用限のない入浴剤への活用の提案が、3校の計約30人が協力してバスソルトを商品化する話がまとまった。

輪島高と岡山市の環太平洋大と興陽高は27日までに、能登の塩と岡山のキュウリを使ったバスソルトを開発した。28日に金沢市内で披露し、販売を始める。今年3月まで金沢学院短大で准教授を務めた環太平洋大の大池淳一准教授は、収益は輪島高へ寄付する考えだとし、「少しでも復興の役に立ちたい」と話した。

環太平洋大の呼び掛けで、金融経済教育研究指定校の2高が参画した。輪島高は被災後に生産を再

バスソルト開発

きょう金沢で披露
市の入浴剤を開発しており、その際に製造を委託した北陸化成（白山市）から今回も協力を得た。パッケージに輪島と岡山の方言で「いいお湯やがいね」「えー湯じゃけーいっぺん入ってみられ」と記した。お披露目販売会は28日午前10時から近江町いちば館前広場で開かれる。

輪島高などが開発

輪島高などが開発したバスソルト



開いた塩の活用、興陽高は実習で栽培したキュウリの規格外品の利用を提案した。

バスソルトは粉状300g入り（約12回分）で千円。保温と整肌効果があり、キュウリではなくマスカットの香りがする。環太平洋大は以前、湯郷温泉（岡山県美作

●販路拡大により復興支援の輪が広がる

【店頭販売】

- ・グランパークせとうち農園
- ・岡山トヨタ自動車株式会社東岡山店

【イベント販売】

- ・岡山県立玉野光南高等学校

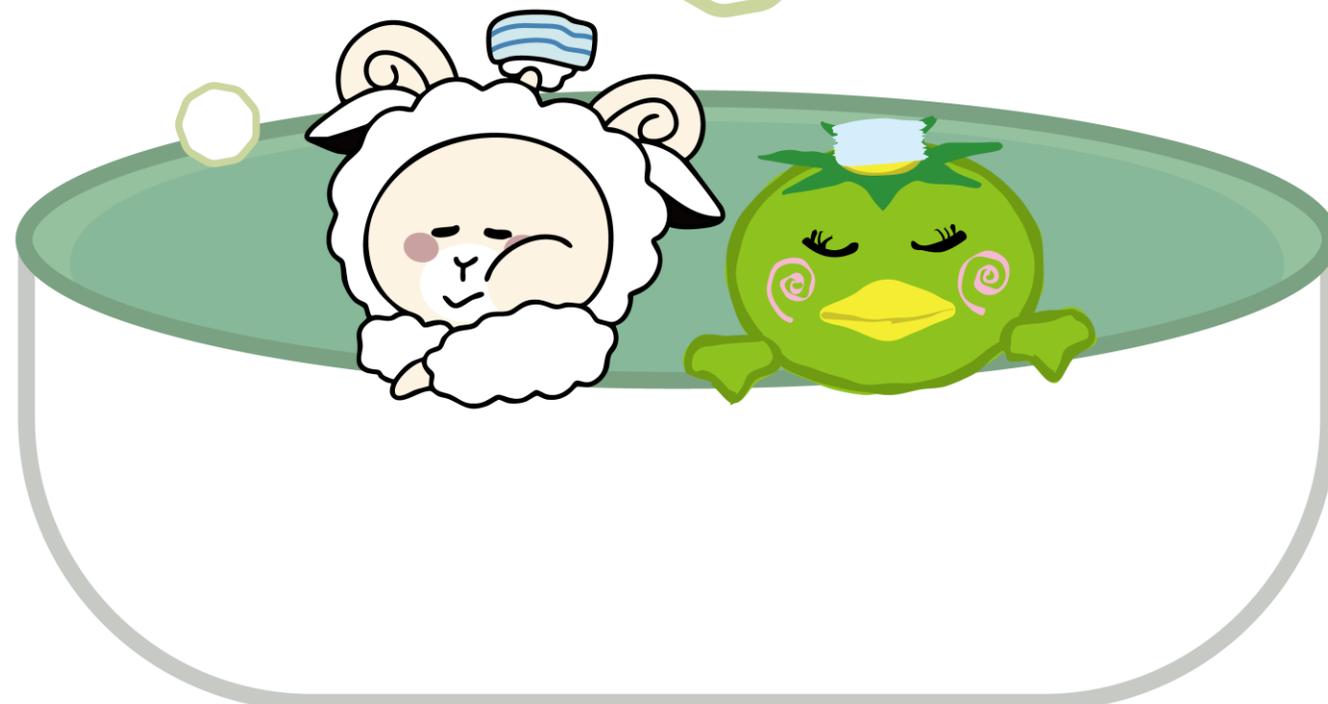
●個包装へのブラッシュアップ



<グランパークせとうち農園>



<個包装のイメージ>



IPU公式キャラクター「イップくん」と「カッパくん」

今後の活動乞うご期待！